

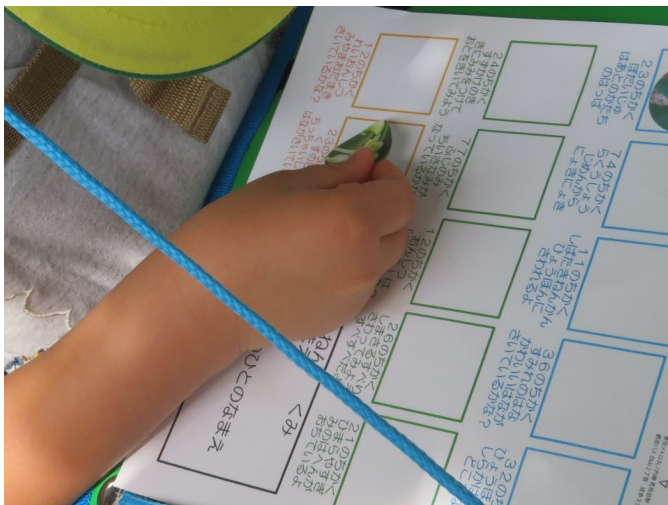
「日々の理科」(第2839号) 2022,-5,15
 ～ 春の小石川植物園 ～
 「すこやか ふれあいウォーキング (4)」

お茶の水女子大学附属小学校教諭

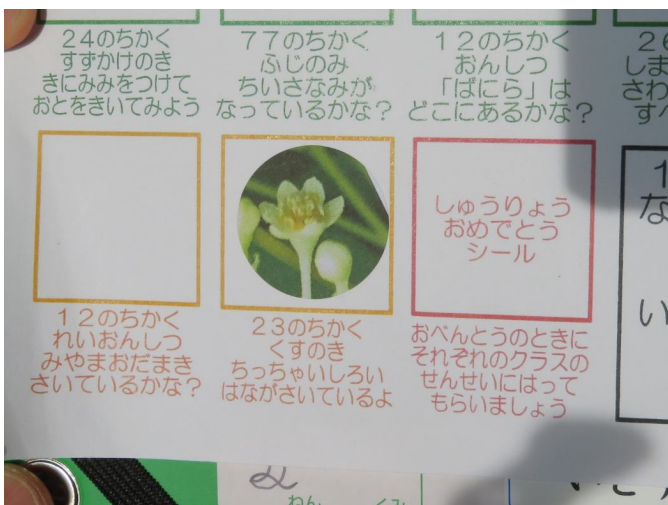
お茶の水女子大学サイエンス&エデュケーション研究所 研究員

田中 千尋 Chihiro Tanaka

各植物や建物(温室・冷温室・柴田記念館)では、カードにシールを貼る。ただし「到着した」だけではシールを貼ることはできない。その場所で植物や建物を見つけ、その植物を観察した時点で、シールを貼ることができる。



カードは子ども自身が、シールは保護者が持っているが、シールは子ども自身が貼る。保護者の方には「シール用紙をお子さんに渡さないでください。そうすると、行かずに全部貼ってしまう子もいます」と、繰り返し注意しておいた。



シールを貼るカード(台紙)は、わざと順路の通りには並べていない。説明文(全部ひらがな)をよく読まないと、どのシールかわからないようにしたのだ。



チェックポイントは全部で12カ所、散策時間は約2時間である。だいたい10分に一カ所のペースで回れば、全部終わる。この子は3カ所終了したようだ。



この植物園ウォーキングは、地図の見方、回る順序、対象物とシールの一致など、さまざまな難しい要素があり、1年生の子どもだけでは難しい。あちこちで、「次はどこに行こうかな?」と、親子やグループで相談する姿が見られた。これもねらいの一つである。



今度は白い大木の根元に、何組もの親子が集まっているのが見えた。子どもも大人も木の幹に耳を寄せている。さて、何をしているのだろうか?